

令和6年 第18回

川西市教育委員会（定例会）議事録

川西市教育委員会

- 会議日程・付議事件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 出席者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

- 説明のため出席を求めた者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

- 議事録作成者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

- 議案等審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

- 会議の顛末・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～15

○ 会議日程・付議事件

会議日時 令和6年11月21日(木) 午後2時9分

場 所 川西市役所 4階 庁議室

日程 番号	議案 番号	付 議 事 件	備 考
1		議事録署名委員の選任	
2		前回議事録の承認	
3		教育委員の活動について	
4	議案第26号	令和6年度川西市一般会計補正予算について	
5		諸報告	

○ 出席者

教 育 長 石田 剛

委 員 治部 陽介
(教育長職務代理者)

委 員 佐々木 歌織

委 員 倉見 昇一

委 員 金子 愛

○ 説明のため出席を求めた者

教 育 推 進 部 長	中西 哲
教 育 推 進 部 理 事	下内 卓夫
(教育保育・インクルーシブ推進担当)	
こ ども 未 来 部 長	岡本 敬子
教 育 推 進 部 副 部 長	岩脇 茂樹
教 育 推 進 部 副 部 長	西山 晋司
(教育保育・インクルーシブ推進担当)	
こ ども 未 来 部 副 部 長	増田 善則
教 育 総 務 課 長	田中 秀弥
教 育 政 策 課 長	富本 幸二郎
教 育 保 育 課 長	三石 基文
イ ン ク ル ー シ ブ 推 進 課 長	三好 有希
こ ども 政 策 課 長	柳本 一志
施 設 マ ネ ジ メ ン ト 課 長	松下 吉晴
設 備 担 当 課 長	中野 貴治

○ 議事録作成者

教 育 総 務 課 主 査	石黒 未央
---------------	-------

○ 議案等審議結果

議案番号	議案名	提出年月日	議決年月日	議決結果
議案第26号	令和6年度川西市一般会計補正予算について	6.11.21	6.11.21	可決

○ 会議の顛末

[開会 午後2時9分]

- 石田教育長 それでは、ただ今より、令和6年第18回川西市教育委員会（定例会）を開会いたします。
- まず初めに、本日の出席者を報告いたします。本日は全員出席でございます。倉見委員におかれましてはオンラインでの出席でございます。今のところ、音声の送受信が適正に行われていませんので、相互間での映像によって進めることといたします。よろしくお願いいたします。
- なお、事務局職員の出欠につきましては、事務局から報告をお願いいたします。
- 教育総務課長 本日の事務局職員の出席についてご報告申しあげます。
(田中) 本日は、議題に関係する職員が全員出席でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 石田教育長 次に、本日の議事日程につきましては、配布しております議事日程表のとおりであります。
- これより日程に入ります。日程第1「議事録署名委員の選任」を行います。教育長において、佐々木委員、治部委員を指名いたします。
- よろしくお願いいたします。
- では、次に、日程第2「前回議事録の承認」ですが、事務局において調整し、第16回定例会および第17回臨時会の議事録の写しをお手元に配布していますので、事務局から説明をお願いいたします。
- 教育総務課長 それでは、第16回定例会および第17回臨時会につきまして、ご説明申しあげます。
(田中) 第16回定例会の議事録につきましては、1ページに会議日程・付議事件、2ページに出席者、3ページに説明のため出席を求めた者、4ページに議案等審議結果、議事録につきましては5ページから19ページまででございます。会議次第に基づきご審議いただきました経過等につきまして、調整させていただいております。
- 最後に、署名委員は、金子委員と佐々木委員よりご署名を頂戴しております。
- 次に、第17回臨時会の議事録につきましては、1ページに会議日程・付議事件、2ページに出席者、3ページに説明のため出席を求めた者、

4 ページに議案等審議結果、議事録につきましては、5 ページから15 ページまででございます。会議次第に基づきご報告いただきました経過等につきまして、調整させていただいております。

最後に、署名委員は、治部委員と金子委員よりご署名を頂戴しております。

以上でございます。

石田教育長

説明は終わりました。

ここで少し、倉見委員の音声を確認したいと思います。

倉見委員、音声聞こえていますか。

倉見委員

そちらの声は聞こえていますが、私の声は聞こえてますでしょうか。

石田教育長

はい。聞こえるようになりましたので、映像および音声により、委員本人であること、また、相互間での映像および音声の送受信が適正に行われていることを確認できました。

それでは、ただ今の議事録について、質問はございませんか。

よろしいですか。

それではお諮りいたします。

第16回定例会および第17回臨時会の議事録につきましては、これを承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長

異議なしと認めます。

よって、議事録につきましては承認されました。

では次に、日程第3「教育委員の活動について」であります。

事務局から報告をお願いいたします。

教育推進部長
(中西)

それでは、10月分の教育委員の皆さまの活動について報告いたします。治部委員におかれましては、多田中学校で開催されました「進路について先輩から学ぼう」に出席いただき、また、東谷中学校と多田中学校の生徒との意見交流会に出席いただきました。

佐々木委員におかれましては、北陵小学校で開催されました「いじめに関する講話」のゲストティーチャーとして、また、東谷中学校と川西中学校の生徒との意見交流会に出席いただきました。

倉見委員におかれましては、多田中学校の生徒との意見交流会に出席いただきました。

金子委員におかれましては、校長会議と園所長会議に、また、東谷中学校、多田中学校および川西中学校の生徒との意見交流会に出席いただきました。

加えまして、明峰中学校での明峰型探求授業と宝塚市で開催されました阪神7市1町教育委員会連合会の総会と研修会にも出席いただきました。

主なものではございますが、報告させていただきます。

石田教育長 ただ今の報告を含め、各委員のほうから補足や意見があったらお願いします。

まず、治部委員、お願いします。

治部委員 多田中学校での、進路について先輩から学ぼうという行事に参加させてもらいました。

この行事は、今、高校生になって、去年、一昨年まで校内サポートルームを活用していた生徒が高校生になって多田中学校に戻ってきて、現在、校内サポートルームを利用している在校生徒にメッセージを投げかけるという会でした。

5人の生徒さん、高校生が来られていろんなお話をされ、皆さん、今が幸せだとはっきりおっしゃってました。全体のプレゼンを聞いた後に、お一人一人に個人的に、お声かけさせてもらいましたけど、全員同じように、今が幸せとおっしゃってました。

多田中学校の校内サポートルームは、どんなところが良かったですかと聞くと、多くの方が、「居場所があった」、「安心できた」、「私に選ばせてくれた」というようなキーワードを言っていました。

今の高校生活も、選択肢があるっていうのが非常にうれしい。選択肢があるから自分のペースで生きていけるというメッセージを、こんな大人っぽいこと言うんだっていうことにびっくりしますが、はっきりと皆さんおっしゃってました。

在校生に対して、「何とかなるよ、頑張っていこう」と伝えていて感動的な会話でした。

以上です。

石田教育長 はい。ありがとうございました。

校内サポートルームを一過性のものとして考えるのではなく、卒業後どのように歩んだのか、そして、その体験や思いが現在サポートルーム等を活用している子どもたちや保護者に伝えるという意味で、縦のつながりを意識した取り組みで、非常に興味深い取り組みだったと思います。

他校にこのような取り組みがあるということで、その成果とか今後の取り組みについて共有したいと思いますので、今のご意見、本当にありがとうございます。

サポートルームのあり方を考えさせる非常に重要な取り組みではないかなと思います。ありがとうございました。

佐々木委員、何かございますでしょうか。

佐々木委員

今回紹介いただいている、北陵小学校のいじめのお話ですとか、東谷中学校、川西中学校の意見交流会の件は、全て先月の定例会の活動報告でお話したことになりますので、ちょっと重ねてになってしまいますが、振り返りとして言っておきますと、意見交流会について、私が率直に感じた感想として、果たしてこれは意見の交流会なのかっていうところが強く思ったところです。

意見の交流というのは、中学生はこんなこと思っているんだ、大人はこうなんだっていう、一つのトピックについてやり取りといいですか、ボールがあっち行ってこっち行ってっていうのがあるべき姿かと思うんですけれども、今落ち着いて振り返ってみても、何か選ばれた生徒たちが、出来上がったというか、しっかり彼らが考えた上で、つくり上げられたプレゼンをして、それに対する質疑応答をするという場になりつつあるのかなと感じました。

意見交流会という形で進めるのであれば、各校ばらばらになったりすることのないように一定の進め方の枠組みをつくる必要もあるでしょうし、本当に交流できたのかっていう振り返りも私たちが必要なのではないかというふうに今も思っております。

石田教育長

ありがとうございます。

今の問題提起については私もお伺いしてしまして、佐々木委員とお話しました。

昨年度は、該当する学年の生徒を一堂に集めて話をするということもあったので、割と発言しやすい雰囲気がありました。

一方、意見は言うけどもばらばらな意見になり、生徒自身として集約できているのかということ、各担任が、学級単位のほうが掌握しやすい

というような思いもあって、今回、代表で提案する生徒とそれから教室のオンラインという形で進めました。

今回の形式も含めてどうだったのかということの反省をしていきたいと思っています。その取り組みの反省も踏まえて、今、担当のほうに言っているのは、現生徒会、特に明峰中学校の生徒会から他校の生徒会と交流したいという意見もありましたので、できれば交流会を開催して、その場で今回の進め方どうだったのかというような話し合いや、学校の子どもたちや生徒たちに提案したいと思っています。

試行錯誤しながら、限られた時間ですし、その辺りは課題もあると思いますけど、それに気付くこと自体も取り組みの成果というふうに思っています。

今、担当課のほうで生徒から頂いた質問に対して、文字にして返答しようということにしていますので、各教育委員の方々も、その文字に起こした返答を見ていただいて意見をいただこうと思います。

今考えているのは、各学校にまとめますが、該当学校以外にも渡すようなことも考えているところです。

そういう意味で、生徒会のほうから生徒会同士の交流がしたい、他校と交流がしたいという意見もありますので、そういうことも踏まえながら考えていく中で、今の課題を検討していきたいと思っています。

ありがとうございました。

金子委員、お願いします。

金子委員

参加させていただいた中で、明峰型の探求学習の発表会に行ったのですが、あらかじめ11個ぐらいのテーマを先生方が用意してくださって、自分で選んだゼミテーマに参加する形です。

全員が何らかの形で発表するっていう機会を、1学期から全部で10回ほどのゼミの開催で完成させての発表ということだったんですが、中でも、舞台発表する子たちが、普段はあんまり人前で発表するとか、誰かより前に出るっていうことはないタイプの子どもたちが立候補してきて、僕、発表したいんです。私、発表したいんです、って言って発表したっていうふうに校長先生がおっしゃっていました。

やっぱり、先ほど治部委員がおっしゃってたみたいに、自分で選べる、自分の興味のあるところを選べるっていう選択肢があったことが、積極的な行動に出れたのかなと思って、普段の授業ではないこの取り組みがすごくいいものだなっていうふうに思いました。

阪神7市1町の教育委員会連合会の研修会では、発達特性のご講演で、

医教連携を講師の先生がおっしゃっていたんですが、医教連携ってすごくいいと思うんですけど、なぜ医教というか、お医者さんなのかっていうところをもうちょっと自分でもかみ砕いて理解したいなと思いました。以上です。

石田教育長

ありがとうございました。

明峰中学校は探求型ということで、明峰リサーチでした。今、取り組みをやられていて、子どもたちのほうも非常に熱心に取り組んでいます。

ただ、校長としては、やはりもう少し深みのある学びにしていきたい、時数のこともあるし、教員ではなくゲストティーチャーという形で、地域の人材等を活用したような、そういう講座が考えられたらと言われていました。

ただ、子どもたちは、ある意味生き生きしていて、自分で選択して、自分の興味あることをやるということについては非常に良かったと思っています。

今後、どのように充実させていくのかということを見ていかないといけないと思います。

それと、先ほど言われました宝塚市で開催された教育委員会連合会の研修会で、不登校とか学校に来にくい子どもたちを医者が面談されているというような取り組みでした。

普通は、心理士の方が面談されるところに小児科医が入るということで、その方の講演でした。

金子委員も言われていましたけど、医学が入ることの功罪といいますか、相談される保護者にとっては医学的な見地からアドバイスいただけるということで、朝起きにくい子どもたちのそういう様子であるとか聞けるようです。

ただ、そこは医学なのかと思うところは、相談することの難しさみたいが付まっています、なぜ医者なのかいうところは、やはり教育委員会としてしっかり持つべきところだと思います。私もあまりその取り組みを聞いたことがないので、非常に興味深く思っています。ありがとうございました。

金子委員、11月8日に名古屋市の山吹小学校へ行っていただき、その取り組みの感想はいかがですか。

金子委員

とても子どもたちが生き生きと主体的に学習しているなっていう場面を見せていただいたきました。

先生方がすごく準備されて、教室の配置とか教材の置き方とか、学び方を工夫されて全校で行っておられ、これはすごいことだなと思って見ていました。

ただ、気になったのが、最後の質疑応答のところで、山吹小学校の子どもたちの卒業後、どんな様子でしょうかという質問があった時に、そこについては、幾つかご意見はあるけども、学校としては恐らく把握されていないというようなご回答があったように思います。

そこがちょっと気になったところではあって、小学校ではすごく良い取り組みで、見るからに本当に生き生きと学んでいるんですけども、そこから先のことも私としては知りたいなという感想を持ちました。

以上です。

石田教育長

ありがとうございました。

私も行かせてもらい2点感じました。

一つ目は、教科とか進路とか取り外して、各自子どもたちが主体的に自分のペースで学んでいけるという、普通に考えたら勉強できない子どもは取り残されているのではないかと思うのですが、逆でした。

自分で進まなければならないという意識がすごく強かったので、分からないことは積極的に聞いていました。

ただ、自分でやらなければならないというところがやはりはっきりしているんで、そこは大きいと思ったのと、ハードルが思ったより低いと感じました。

普通の公立小学校でも可能ですし、今現在、多田東小学校とかいろんなところで既に始めているので、教職員も違和感なくできるのではと思いました。

もう一つは、やはり私も教育委員会なので、こうやって見にこられ、先行して取り組んでいるということで、スポットを浴びることで、子どもたちも教職員もすごく自分のやっていることに自信を持っているっていう感じがしました。

私たちは、こんな取り組みやっていますということを、ある意味誇りに思って大事にしていくっていう感じが学校全体にありました。

だから、本市も今、学校園所でいろんな取り組みをしているので、どのようにスポットを当てるのか、または発信していくのかなど、考えなければいけないと思った次第です。

すみません、長くなりました。

倉見委員、お願いします。

倉見委員

私も中学生との意見交流会に、多田中学校に行かせていただいて、その後2点ほど石田教育長とも話をしたのですが、1点目は、先ほど佐々木委員のご発言の内容にも絡んできますが、われわれと同じところのフロアにいる生徒と、各教室でオンラインで参加している生徒の、参加の度合というか、少し乖離があるので、市長が各教室に回るっていうのは良い案だなというように思っていました。

それから、一通り全中学校が終わってからでいいとは思いますが、横のつながりといいますか、他の中学校では、こういうことはこんなふうに解決しているよ、みたいな話が石田先生から時々出るので、それを直接子どもたち同士が、うちでは、そういうのはこんなこと、こんな工夫してるよとか、同じようなことでやはり課題があるんだとか、そのような横の情報交換会みたいのがあるといいのかもというように思いました。

以上です。

石田教育長

ありがとうございました。

今月末に緑台中学校がありまして、それで一応最終になりますので、その上で教育委員会の懇談会か何かで意見交流して、来年度どういう形でやるかということについて原案を立てたいと思いますので、よろしくお願い致します。

私のほうは、今コメントをそれぞれさせていただいたのですが、11月16日に川養祭がありました。

私は、その後に別のイベントがあったので途中退席いう形になりましたけど、非常に印象的でした。

子どもたちが日々取り組んでいる内容で、例えば、足で車椅子をけったりとか、物をつかんで引っ張ったりとか、そういう動作の発表を上手に劇形式でしていました。

当日、体調の悪い子どもたちについても、ビデオを撮って発表する場をつくるなど、すごく先生が工夫されていると思いました。

したがって、頑張っって力を入れて引っ張る動作に対して、観客席から「頑張れ」、「もう少し」っていう声があり、引っ張って上手くできた時に拍手が起こり、子どもたち自身にとっても励みになるような取り組みになっていると思いました。

2点目は、こういう活動を他の学校の子どもたちに共有する場面が欲しいとすごく思いました。

コロナ禍もあっていったん各学校から来るっていうのを一回見直しているところもあり、こういうイベントがあって見に来ようというような

子どもたちや教職員の動きをフォローするような形で考えていかないと、保護者だけ、校長だけではなく、こういう活動を見て何か得るものもあるだろうと感じがして、ぜひ考えていきたいと思います。

こういうことが日常的にできるようになるのが一番良いのかなと思い、そういうところを強く感じました。

以上です。ありがとうございました。

それでは、教育委員の活動については以上といたします。

次、日程第4、議案第26号「令和6年度川西市一般会計補正予算について」であります。

事務局から説明をお願いします。

教育総務課長
(田中)

それでは、議案第26号「令和6年度川西市一般会計補正予算について」ご説明申しあげます。

議案書3ページをお開きください。

本案は、令和6年度川西市一般会計補正予算のうち、教育委員会関係予算について市長に申し出するにつき、川西市教育委員会事務処理規則第10条第1項の規定により議決を頂こうとするものでございます。

議案書4ページをお入れください。今回、補正予算とする項目は、繰越明許費の補正と債務負担行為の補正を行おうとするものでございます。

繰越明許費の補正は、第10款教育費、第6項施設費で、教育施設維持管理事業におきまして、市立加茂小学校エレベーター設置工事および市立牧の台小学校エレベーター設置工事に伴う設計業務委託において、業務の完了が令和7年度になると見込まれることから、1億4,069万円と650万円の繰越明許費を追加しようとするものでございます。

続きまして、債務負担行為の補正でございます。

記載されております事項につきましては、令和7年4月1日以降の業務であります。令和5年度中に入札を実施し、契約する必要があります。この契約の担保として、令和6年度中に債務の上限額を議会の議決により設定しようとするものでございます。

これらの事項のうち、主だったものについてご説明いたします。

上から二つ目でございます。中学生に対する無料学習支援業務につきましては、令和7年4月から学習支援を始めるに当たり、令和6年度中に契約を締結する必要があるため、2,717万4,000円を限度額として追加しようとするものでございます。

次に、その二つ下の、川西養護学校スクールバス更新につきましては、令和8年度から運行するに当たり、スクールバスの納車が1年程度要す

ることから、令和6年度中に契約を締結する必要があるため、6,100万円を限度額として追加しようとするものでございます。

次に、その二つ下の、市立小中学校体育館空調設備設置工事および工事管理委託業務につきましては、令和7年度中に全小中学校体育館の空調稼働を目指すに当たり、令和6年度中に契約を締結する必要があるため、15億1,600万円を追加しようとするものでございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申しあげます。

石田教育長

説明は終わりました。

これらについては、協議会でも協議をさせていただきましたが、それを踏まえた上で何かご質問がありましたらお願いします。

よろしいですか。

それではお諮りいたします。

議案第26号につきましては、これを可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第26号につきましては可決されました。

次に、日程第5、諸報告であります。

「(仮称)川西市こども・若者参加条例(案)」の答申についての説明をお願いします。

こども政策課長
(柳本)

「(仮称)川西市こども・若者参加条例(案)」につきましては、令和6年1月に、川西市子ども・若者未来会議に諮問を行い、その後、未来会議の下に、大人による条例検討部会および、こども・若者による条例検討部会を設置して議論を重ね、最終的に10月15日に部会から未来会議へ報告が行われました。

報告を受けて、未来会議において議論した後、答申を作成し、11月4日に答申式を開催し、こども・若者未来会議の玉木副会長から越田市長に別添資料のとおり答申書が手渡されました。

また、11月4日の当日は、今まで部会に参加してきた市内在住の子ども・若者のうち10人が参加し、条例の全文の発表や市長との意見交換などを行いました。報告は以上です。

石田教育長 報告は終わりました。
これについても協議会で提案がありましたが、それを踏まえた上で何か質問等ありますでしょうか。
治部委員どうぞ。

治部委員 諮問されたその結果の資料はどれになりますか。

石田教育長 (仮称)川西市子ども・若者参加条例(案)ということで、全文から、答申書という形で、これがそれに当たります。

治部委員 分かりました。読んでみます。

石田教育長 はい、お願いします。
報告事項なので、また見ていただいて、何かあったら協議会等でご意見を頂く形になると思います。
他よろしいですか。
それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。
次回の定例教育委員会は、12月19日木曜日午後2時から市役所4階庁議室において開会の予定です。
それでは、これもちまして令和6年第18回川西市教育委員会(定例会)を閉会いたします。
どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

[閉会 午後2時40分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

令和6年12月19日

署名委員 佐々木 歌織

治部 陽介